

[資料編]

- (1) 構想策定の経緯
- (2) ハード系質問内容と回答
- (3) 5 7の企画提案
- (4) 委員会委員名簿



(1) 構想策定の経緯

委員会・ワークショップ開催経緯

会 議	日 時	内 容
第 1 回委員会	8月 8日 (木)	調査の主旨と進め方 調査対象地区の概要 都市整備の状況
第 2 回委員会	8月 29日 (木)	委員会メンバーの確定と部会編成 部会毎の街あるき 部会毎の意見交換 全体会でのレポート
第 3 回委員会	9月 19日 (木)	前回街あるきのとりのまとめ 登戸地区の将来イメージについて 第 1 回ワークショップの準備
第 1 回ワークショップ	9月 26日 (木)	調査主旨の説明 部会から前回検討結果の報告 部会別のワークショップ 各部会からの報告
第 4 回委員会	10月 24日 (木)	検討経過の整理確認(ワークショップ、 ビジョン策定フェーズ、商業者アンケート結果) ワークショップの結果をもとに部会毎の検討 これからの検討・企画提案の作成
第 5 回委員会	11月 14日 (木)	部会毎の企画提案の内容の検討
第 6 回委員会	12月 5日 (木)	消費者アンケート結果、商業ビジョンの骨格 部会毎の企画提案の内容の検討 部会案の発表
第 7 回委員会	1月 16日 (木)	部会毎の企画提案の絞込み 第 2 回ワークショップの準備 各部会の企画提案の発表
第 2 回ワークショップ	1月 30日 (木)	企画提案の発表 意見交換
第 8 回委員会	2月 13日 (木)	第 2 回ワークショップ結果の確認 計画書の内容検討 今後の活動継続について

(2) ハード系の質問内容と回答

委員会では、特にソフト事業について検討する方向で話し合ってきましたが、市が行なっているハード整備事業について把握する必要があるとのことで、行政の関連部局へ照会しました。

その内容は、次のとおりです。

No.	質問内容	回答
1	登戸駅前商店会は、狭い道路にバスが走り危険です。市営バスが曲がれない（曲がることで危険）箇所も見られます。小型バスの運行の可能性はありますか。	登戸駅前を運行いたします市バス矢ノ口線は、現在、中型バスで運行しておりますが、今後、乗車人員に応じた効率的な小型バス導入を含め、検討してまいりたいと考えています。
2(1)	区役所通り登栄会では、小田急バス・市営バスが1日400本（3分に1本）通過し、この他一般の大型車も通過します。危険で歩行者が安心して買物ができないことについてはどうお考えですか。	区画整理事業で区域内の都市計画道路、区画道路などを、順次整理することにより、歩行者の安全を確保します。（道路整備関連部局）
2(2)	区役所通り登栄会では、小田急バス・市営バスが1日400本（3分に1本）通過し、この他一般の大型車も通過します。危険で歩行者が安心して買物ができないことについてはどうお考えですか。	現在、市バスは、区役所通りを1日27回、中型車が一方運行を行っております。歩行者の皆様が不安を感じる事が無いよう、研修や出庫前の点呼の時間を利用して、乗務員へ安全運行の周知徹底をしております。（交通関連部局）
3	商店街の中に、側溝から雨水が溢れる箇所が100mに見られます。排水の問題についてどうお考えですか。	区画整理事業の雨水排水計画に基づき順次整備を進めてまいります。
4	向ヶ丘遊園駅南口には、駐車場が整備されているが、北口には少ないように思われます。駐車場の現状と今後の増設は、どうなっていますか。（登戸駅周辺もどうなりますか）	現在、川崎市では条例に基づき、ある一定規模以上の建築物を新・増築される際に、原因者負担として建築主が必要な、また、附置義務等により、駐車場を設置することになっております。向ヶ丘遊園駅北口地区については、登戸区画整理事業区域内ということもあり、事業の進捗に伴い、建築物が増加すると思われるので、今後も条例等により適正な整備を指導してまいります。
5	区画整理により（遊園北口）駅前広場等が整備される場合、駐車場は整備されますか。	現在の駅前広場計画の中では自動車駐車場の整備計画はございません。
6	踏み切りがあるために、商店街が分断されていることが大きな問題であります。小田急に高架化や地下化するように、要求はしないのでしょうか。また、踏み切りはなくなるのですか。	南北の地域分断の解消を図るため、かねてから小田急電鉄(株)へ要望しておりますが、小田急電鉄(株)からは「現時点では将来計画が定まっておりません」と伺っております。また、踏切についてですが、まず、登戸駅方にございます登戸1号踏切については、複々線化および土地区画整理事業に併せて廃止され、現在の踏切位置の登戸駅寄りに6mの道路を整備する予定となっております。次に、生田駅方の向ヶ丘遊園1号踏切についてですが、向ヶ丘遊園駅 - 新百合ヶ丘駅間の複々線化計画が未定となっておりますので、踏切の形態も決まっておりません。

7	区画整理事業が現段階で総事業費610億円のうち、どの程度使われているのですか。	概ね230億円かかっています。
8	建築物等の移転が21%しか進んでいない段階で、すでに予算の半分を使っている、今後の事業は可能なのでしょうか。	当事業は、市の重点事業として、今後も推進してまいります。事業費についても、新たな補助制度を導入するなどして、確保してまいります。
9	歩行者と車の分離については、どうお考えでしょうか。(道路の幅員は狭く、歩道も無く、子供連れの母親にとって大変危険です)	登戸土地区画整理区域内では、都市計画道路について歩道を設置する計画をしております。その他の区画道路(生活道路)については、歩道を設置する計画はございません。
10	電線の地中化についてどうお考えですか。(まちの景観・イメージを損ねています)	登戸土地区画整理区域内では、都市計画道路について電線の地中化を計画しております。
11	登戸駅前の放置自転車が地域の問題となっています。駐輪場の実態と今後の増設の可能性はありますか。	登戸駅周辺の自転車等駐輪場については、市営5箇所・民営1箇所の計6箇所設置されており、収容台数は2,076台で2,078台の利用台数となっております。また、駅周辺の放置自転車等は519台となっております。今後の増設の計画につきましては、平成14年度中に200台規模の駐輪場設置を予定しております。
12	向ヶ丘遊園駅前の放置自転車が地域の問題となっています。駐輪場の実態と今後の増設の可能性はありますか。	向ヶ丘遊園駅周辺の自転車等駐輪場については、市営5箇所・民営5箇所の計10箇所設置されており、収容台数は3,900台で2,577台の利用台数となっております。また、駅周辺の放置自転車等は555台となっております。今後の増設の計画につきましては、現在のところはございません。
13	向ヶ丘遊園駅の南北連絡通路についてどうお考えでしょうか。	向ヶ丘遊園駅の南北通路については、本市の総合計画における位置付けがなされておきませんが、請願第85号「小田急線向ヶ丘遊園駅周辺の街づくりに関する請願」が主旨採択されたことを踏まえ、平成14年5月に、関係各課長で構成する庁内検討会を立ち上げ、南北自由通路を含む向ヶ丘遊園駅周辺のまちづくりについて検討を行っており、地元市民で構成する「街づくりを考える会」との意見交換を踏まえ、庁内検討会において中間とりまとめを行ない、一定の方向性を示しました。
14	向ヶ丘遊園駅の南北通路の確保はどうなっていますか？	また、平成15年度に駅周辺のまちづくりについて調査を実施するとともに、今後実施される総合計画の改訂作業の中で位置付けがされるよう関係機関と調整を進めたいと考えております。
15	遊園地が無くなった後の駅名はどうなりますか？	向ヶ丘遊園廃園後の駅名については、変更する考えは無いと、小田急電鉄(株)より伺っております。
16	世田谷通り・府中県道の拡張計画はどうなりますか？	世田谷通り(世田谷町田線)につきましては、多摩水道橋交差点から登戸郵便局北側交差点までの延長約820mを事業中であり、計画幅員20~27mで整備する予定です。また、府中県道(鹿島田菅線)につきましては、現在、多摩警察署交差点から土洲交差点までの延長約1,050mを事業中であり、計画幅員20mで整備する予定です。

(3) 57の企画提案

委員会での検討の途中では、各委員から沢山の意見や提案が出されており、これらは企画提案書として、シート化されました。以下は提案された57の企画提案の概要です。

企画提案書一覧

No	テーマ	ねらいと内容
01	地域に根ざした商店街	商店街が地域の情報発信基地になり、他（町内会、子供会、学校、NGO/NPO・・・）と連携、ネットワークを広げること で“コミュニティ”として機能するまちづくりを目指す。
02	登戸駅から多摩川土手へのアプローチ路	多摩川河川敷と駅舎がもっとも近い位置にある。（南武線の他の駅と比べて） 多摩川河川敷の有効活用にプラスとなるように
03	川遊びが出来るまち、「登戸駅」	多摩川河川敷の有効活用。登戸駅付近しか出来ない事を有効活用しよう。魚釣り・釣具店の整備、ボート遊びの復活、レンタサイクル
04	南武線のイメージアップを	南武線の名称変更によるイメージアップを図る。 南武線：なんとなくダサイ 多摩川線：多摩川に沿う鉄道線である。
05	空き店舗対策、専門店の誘致を推進	登戸地区商店街の活性化。空き店舗及び遊休地の活用として登戸地区に不足する専門家を誘致、営業内容が良い店を誘致、まち中の休憩所とする。
06	学生が暮し易いまちづくりを	小田急沿線には大学が多く、特に登戸遊園地区は、明大、専修大があり学生が多いまちである。学生が生活するために必要な施設 これらの欲求を満たせる「まち」を造る。
07	レンタサイクル、サイクルポートの設置	処分対象となる放置自転車の活用、観光スポット、鉄道駅、主要施設にサイクルポート設置、多摩川土手道のサイクリングロードの有効活用、放置自転車対策の一環。
08	登戸旧名所の案内	歴史のある登戸地区の旧名所の案内を大々的にPRする。パンフレットを作り3ヶ所の各ホームに置く。月に4回程度名所案内ボランティアにより案内してまちをPRする。
09	日曜青空テント村	毎週日曜に、登戸と提携した地方の町の名産産地物を市場として出店してもらおう。勿論、海の幸、山の幸、工芸の里、大道芸、とにかく各地から来てもらい、登戸の名物とする。
10	知識、知恵を付加価値として(知識社会への対応)	食品、物品の販売にあたり、賞品の知識などを附加説明することを通して消費者と、商店主のコミュニケーションを計り相互の信頼関係を築く。
11	駅前イベント広場の整備	駅前イベントを催し、乗り換え客を取り込む。梨、柿、栗、キュウリ等地元でとれた果物・野菜市、ナイトバザール、フリーマーケット、ミニコンサートの開催。
12	サイン、メッセージボードの整備と1日1品バーゲン	駅の乗り換え口（できたら駅構内にも）、商店街の入り口に大きなサインボードを設置して乗り換え客に商店街の地図と店のメッセージ、商店街のイベントを伝える。
13	街角に現代彫刻を	岡本太郎美術館にちなみ、現代彫刻でまち並みを演出する。まちに個性を出し散策路として集客する。商店街、街角、商店前に彫刻設置ブースを設け、公募して優秀作品は購入。
14	梨畑をイメージしたアーケードとカラー舗装	登戸駅前商店会は、駅と一体での整備が望まれる。駅構内に連続する屋根のついた、明るいまちにする。駅周辺エリアを区画整理が完了するまで屋内商店街として整備する。

15	自分を活かす（人づくり）	明るく楽しいまちづくりの第一歩はまず自分自身を明るく楽しい気分にするところから始める。そして楽しい気分を人に伝えよう！ “ Pay Forward ”（ペイ・フォワード）
16	既に在るものを活かす（人を活かす）	既存の商店街の潜在的な魅力を掘り起こす。登戸ネット、地域通貨アーチなど既に芽ばえたものを育て、活用する。店の紹介、人の紹介、店と住民を結ぶ媒介を育てる。
17	空き店舗を活かす（場所づくり）	潜在需要を引き出す。自分の店を育てる楽しみと苦しみを知る。チャレンジしてみたい人とアイデアを公募する、賛同する出資者を募る、新たな事業を起こす。
18	登戸駅前再開発について	公共的要素の強い駅前の利用方法について、地権者のみの判断ではなく利用住民の意見も取り入れてほしい。
19	ネーミング 登戸 + 向ヶ丘遊園 ？	冴えないわがまち「登戸」を脱却するためまず名前を変える。新たなイメージの創造。遊園跡地を21世紀型環境共生モデル都市にする計画、アイデア公募、審査、公選、決定。
20	タマちゃんを飼う	自然に接する。野生に触れる。環境を考える。 多摩川にタマちゃん ばら苑にバラちゃん
21	「のぼりと隊」とか登戸サポート軍団がまちのあちこちに露出する！	人づくり、求心力づくり、市民の中へ増殖するしかけづくり。楽しく集まる集団づくり。これを社会に露出させる。イメージ訴求を図る。地域の活動を地域の利益に帰着する活動。
22	登戸発	他の商業主義との差別化のためには、登戸オリジナルなお店が必要。さまざまなコンテストを行い、住んでいる人、利用する人から登戸オリジナルのアイデアを募り商品化する。
23	駅前保育	小さい子供をもつ核家族の両親が安心して働くことができる環境、子育てできる環境をつくる。空き店舗を利用して夜遅くまで子供の面倒を見てもらうことができる保育施設をつくる。
24	みんなの集いの場	登戸をよりコミュニティのあるまちにするために地域住民などがさまざまな活動ができる場をつくる。空き店舗や高架下を利用。さまざまなイベントができるスペース、市民ギャラリー。
25	ナイトバザール	商店街で模擬店などを出し、子供も大人も一緒に遊べる、楽しいお祭り。地域住民に店を知ってもらう。商店と住民との交流を深める。模擬店、ゲームコーナー、演芸、ストリートライブ。
26	岡本太郎美術館をアピールしたまちづくり	まちの芸術性を高める。文化レベルをアップ。地域住民や観光客などに岡本太郎の作品とともに店を知ってもらう。まちの中に美術品のレプリカを置く、設置場所のマップをつくる。
27	大フリーマーケット	フリーマーケットに商店街も加わって安売り、処分売りなどをやる。大々的なフリーマーケットを開催（登戸・向ヶ丘遊園）。商店街の各店舗でも自由参加。
28	子育て支援	乳幼児を持つ母親へ場所を提供：買物がゆっくりできる、情報交換、人との交流。商店街に託児所をつくる。空き店舗などを利用、ボランティアで預かる人を頼む、母親同士も世話をする。
29	専門店の充実・強化・アピール	大規模な設備投資をしても効果が低い。個店のさらなる専門店化・・・多様化する消費者ニーズに対応、商品構成の絞込み充実化、専門店の強みを。その上でアピール・集客イベント。

30	総合的まちづくりモデルプラン	9月に発表された「行財政改革プラン」を市民と専門家の共同で実現させる。全体像や相互連関を評価した上で事業局間の横断的な“まちづくり”に意見を反映させる仕組みを作る。
31	空き店舗を利用したリサイクルステーションの解説	学生が住むまちなので、卒業後不要になる家電製品等のリサイクル販売に取組み、住民の利便を図るとともに、環境や健康に配慮した商店街を目指し住みよい地域づくりで客を集める。
32	高齢者社会に対応した、安心して歩ける商店街	駅と行政施設との間をビジネス客、地域住民が回遊、ウインドショッピングの出来る街路空間があり段差を少なくしたまち。建築協定による一定の制限を行い、調和のとれた街区を造る。
33	新入生・新社会人のためのリサイクルフェア	新しく引っ越される方への利便の向上と地域社会とのかわりを高める。卒業生（転出者）、新入生（転入者）の不要品と必要品の間を媒介する。
34	文化の香りのする活気あるまち	文化的資源を生かし落ち着いたまちと若者のエネルギーを吸収する地域の構築。ポケットパーク、オブジェの設置。若者がまちに滞留する業種(本、CD)、流行性の高いグッズの専門店街。
35	サンキューフェスタのぼりと会場 = 生田緑地噴水広場一帯	商店（会）への集客力アップのきっかけづくり 商店（会）間の協調・連携強化 民家園等文化施設とのタイアップによる商店（会）振興
36	遊園南口の活性化のために・・・ 「“グランドガーデン”生田緑地の門前町・文化のまち」のまちづくりのために	歴史のまちとしての宣伝：榊城址、広福寺、天神社、安立寺 観光のまちとしての宣伝：生田緑地、岡本太郎美術館、ばら苑 「向ヶ丘遊園駅」：ハイキングコースの起点駅としての宣伝
37	中和ビルの空き室対策として	上記の観光グッズ（お土産、名産）の開発と出店 文化のまちにふさわしい貸しギャラリーを商店街などで運営する。地元の趣味の会、絵葉書、俳句、子育てなどと連携して。
38	向ヶ丘遊園パーク安堵ライド作戦	遊園駅からばら苑までの安全快適な交通アクセス確保で来街者の利便を図る。モノレール跡地を車道拡幅に当て、歩道脇に専用自転車道を作り電動スクーターを貸し出す。
39	生田緑地の門前町計画または生田緑のモノレールプラン	登戸駅、遊園駅から生田緑地までのアプローチを活性化し、魅力的な地域資源である「生田緑地」の門前町登戸を意図的にアピールする。モノレール跡の分離帯にばらの鉢植えを置く。
40	サテライトスタジオ的ミュージアムショップ	美術館や文化施設と商店街と市民をつなげる。商店街の空きスペースや空き店舗を利用。施設のインフォメーションセンターの機能も兼ね、まちと施設と市民を結びつける。
41	ミニバスでつなぐ	生田緑地の施設、専修大学を結びその付近一帯を活性化。民家園等の施設が横の繋がりが希薄である。ばら苑アクセスを生田緑地側からとし専修大学へのバスと1つにする。
42	美術館 + 地元作家 + 商店街	川崎市内に多くいる地元作家と美術館と商店街をつなげる。遊園駅から美術館へのアクセス路に美術館にまつわる物を置き（販売し）、地元作家に作品を置くスペースを提供する。
43	大学の休講情報の提供 +	遊園付近に多く住み、通ってくる明治大学、専修大学の学生の為に授業の休講情報などを遊園駅付近で提供し、その情報を発信する場所付近に時間をつぶせる場所をつくること。

44	ヨーロッパの片田舎を思わせるメルヘンのまち（まちそのものが芸術品）	生田緑地、専修大学・明治大学を背景に、自然と文化、今ある資源をもっと前面に出し有効利用する。連動して商店街づくりを押し進める。人々の集うやさしいまちづくりがしたい。
45	“ 振る舞いのまち・触れ合うまち ” 登戸 サマーフェスティバル “ 登戸 ”	お御輿を担ぐ ブラスバンド・吹奏楽の行進 郷土の踊り（阿波踊りなど）のコンテスト
46	“ 振る舞いのまち・触れ合うまち ” 登戸 オータム・オリエンテーリング “ 多摩 ”	紅葉の秋、多摩区の秘宝を探しながら多摩区の名所旧跡を巡り、文化・教養そして余暇を楽しむオリエンテーリング！（他県、他地区の参加を大歓迎）
47	（仮称）インフォメーション・ステーション	“ グランドガーデン＝生田緑地 ” にある地域資源（歴史・文化・緑）を活かし、連携を図るため、総合的に情報提供する場を設ける。散策マップ、イベント情報カレンダーを配布。
48	（仮称）ガーデン・メイト	“ グランドガーデン＝生田緑地 ” にある地域資源（歴史・文化・緑）を門前町となる商店街と共にたっぷり年中楽しめるように友の会的メンバーシップ（会員制度）を創設する。
49	（仮称）月ぎめイベント	“ グランドガーデン＝生田緑地 ” では四季折々自然の変化、歴史的な行事、施設イベントなど見所がめじろ押しである。これと連動したイベントを門前町商店街で毎月開催する。
50	（仮称）生田緑地サミット	“ グランドガーデン＝生田緑地 ” にある地域資源（歴史・文化・緑）を見つめ直し、その将来像のグランド・ビジョンを共有するため、ワークショップとシンポジウムを開催する。
51	レンタサイクルシステム及びサイクルポート事業	レンタサイクルシステム及びサイクルポート設置により、 放置自転車の解消を図る 地域の交通利便性の向上を図る 多摩川沿道のサイクリングロードの有効活用を図る
52	買物のために商店街に一時的に止められる自転車に対しての対応策（試案）	買物のために一時的に止められる自転車に対し、駐輪スペースを商店街の一角に設ける。当部会と商店街と協議し、駐輪スペース、誘導方法、PR活動方法の計画を立てる。
53	小田急線高架下の道路および空間利用計画	高架下を利用した河川敷へのアプローチ道路の整備。活性化に役立つ計画としていくこと。高架下に店舗などを配置、自転車置場の配置、河川敷へのアプローチ道路
54	「登戸・向ヶ丘遊園ガイドブック」の作成	ガイドブックの内容構成。ショップガイド（店舗分類）、店舗ガイドマップ、生活情報、ショップインデックス、イベントカレンダー
55	地域循環バス	公共交通手段の再整備。環境問題と高齢化社会への対応。地元商環境の活性化。アメリカ型車社会と郊外の大型店から脱却し新たな市民文化を築く。レジャー施設の活性化。
56	登戸ネット放送局	商店街発、地域の情報基地。商店街と地域住民の接点。地域商環境の活性化。既存の登戸ネットを利用した放送局を設置、インターネットTVも可能。双方向のやり取りが可能。
57	自分を活かす	まずは自分自身を明るく楽しい気分にする事から始めてみる。そして楽しい気分を廻りの人に伝染させる。まちや商店街を明るくする。マナーやモラルの向上、安全なまちづくり。

(4) 委員会委員名簿(順不同)

登戸地区商業ビジョン基本計画検討委員会委員リスト

	氏名	団体名・所属
委員長	関根 孝	専修大学商学部教授
副委員長	小林 正美	明治大学理工学部助教授
副委員長	小林 みどり	L Kデザイン研究所
副委員長	田中 友章	株式会社 フォルムス(明治大学講師)

(登戸駅周辺地区部会)

専門家委員	小林 みどり	(再掲)
商業者	吉澤 和久	登戸駅前商店会 会長
一般委員	杉下 祿郎	まちづくり推進協議会(多摩区民)
一般委員	村田 芳郎	まちづくり推進協議会(多摩区民)
一般委員	坪井 武信	まちづくり推進協議会(多摩区民)
一般委員	村上 達男	公募市民(登戸新町)
一般委員	横川 さとみ	公募市民(登戸)
一般委員	小笠原 紀将	公募市民(菅仙谷)
一般委員	七滝 安弘	公募市民(宿河原)
一般委員	石井 孝和	公募市民(寺尾台)
一般委員	余川 辰哉	公募市民(宮前区五所塚)
一般委員	渡邊 直子	公募市民(布田)
一般委員	関田 英恵	公募市民(宮前区五所塚)
一般委員	江藤 友美	公募市民(登戸)
一般委員	神谷 優治	明治大学学院生
行政委員	鈴木 洋昌	総合企画局政策部
行政委員	岡田 実	まちづくり局都市計画課
オブザーバー	安部 芳裕	市民
オブザーバー	近藤 敏	市民
オブザーバー	柄崎 理智	市民

(向ヶ丘遊園駅周辺北口地区部会)

専門家委員	小林 正美	(再掲)
商業者	江藤 文雄	登戸東通り商店会
商業者	細埜 隆巳	登戸東通り商店会
商業者	野村 日出夫	中店通り商店会 会長
商業者	横山 昭雄	登戸中央銀座商店会 会長
商業者	石原 金太郎	登戸中央銀座商店会
商業者	安陪 修司	区役所通り登栄会商店街振興組合 理事長
商業者	井田 安弘	区役所通り登栄会商店街振興組合
商業者	野村 晃	区役所通り登栄会商店街振興組合
商業者	吉沢 卯平	新川通り商店会 会長
一般委員	伊藤 一広	公募市民(登戸)
一般委員	中嶋 嘉孝	公募市民(宿河原)
一般委員	笠原 稔幸	公募市民(登戸)
一般委員	堀内 功太郎	明治大学学院生
行政委員	齋藤 繭	まちづくり局街なみデザイン課
行政委員	増田 守男	まちづくり局登戸区画整理事務所
オブザーバー	大向 聡	明治大学学生
オブザーバー	小野 健二	明治大学学生
オブザーバー	加藤 智里	明治大学学生

(向ヶ丘遊園駅周辺南口地区部会)

専門家委員	田中 友章	(再掲)
専門家委員	関根 孝	(再掲)
専門家委員	山田 長満	日本起業家協会 会長
商業関係団体	大井 泰紀	川崎商工会議所 多摩麻生支所長
商業者	玉井 勝重	多摩商店街連合会 会長
商業者	春名 康次	民家園通り商店会
商業者	横山 久寿	遊園南口商店会 会長
商業者	吉澤 実	遊園南口商店会
商業者	西 一徳	中和ビル商店会 会長
一般委員	井上 清	まちづくり推進協議会(多摩区民)
一般委員	園部 千代美	公募市民(中野島)
一般委員	高平 汎志	公募市民(宿河原)
一般委員	稲葉 敬二	公募市民(東三田)
一般委員	池谷 慶一	公募市民(東三田)
一般委員	山添 直樹	明治大学学院生
一般委員	趙 時英	専修大学学院生
一般委員	伊藤 由衣子	専修大学学生
一般委員	平田 克武	専修大学学生
一般委員	前澤 吉輝	専修大学学生
一般委員	美細津 梢	専修大学学生
行政委員	木村 幸敏	多摩区役所地域振興課
行政委員	森部 隆	経済局企画課
オブザーバー	松岡 嘉代子	市民
オブザーバー	小川 貴之	明治大学学生

事務局 川崎市経済局産業振興部商業観光課

調査協力 (株)二宮都市研究所